

学長定例記者会見要項

日 時： 令和3年5月13日（木） 11:00～11:45
場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

発表事項

1. 山形大学の新型コロナウイルス感染対策
～授業実施における感染防止の取り組み～
2. 2021年度JT「SDGs貢献プロジェクト」に採択
3. 基盤共通教育科目「YU empowering with SDGs」を開講
～県内企業、自治体等との連携による学修カリキュラム～
4. リコージャパン(株)と山形大学の提案企画が山形県委託業務に2年連続共同採択
～学習会を通して若者の環境への理解促進をサポート～
5. 教職の魅力創造プロジェクト
～PR動画が完成しました！～
6. 山形の食の魅力発信「やまがた食育・地産地消ガイド2020」を発刊
～食育・地産地消推進プロジェクトの成果～

お知らせ

1. 山形県立博物館開館50周年記念特別展に山形大学理学部も協力します
2. 山形大学公開講座「憧憬の文学 文学の憧憬」のご案内

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：令和3年6月3日（木） 11:00～11:45

場 所：法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

学長定例記者会見（5月13日）発表者

1. 山形大学の新型コロナウイルス感染対策 ～授業実施における感染防止の取り組み～

学術研究院 教授（基盤共通教育担当）

せんよ かつみ
千代 勝実

小白川キャンパス事務部学務課免許資格担当係長

たかはし かずお
高橋 和音

インロールメント・マネジメント部学生支援課学生支援担当主任

やまくち まこと
山口 真

2. 2021年度JT「SDGs 貢献プロジェクト」に採択

副学長

はやしだ みつひろ
林田 光祐

日本たばこ産業株式会社山形支店長

すみや けんじ
墨谷 健二

3. 基盤共通教育科目「YU empowering with SDGs」を開講 ～県内企業、自治体等との連携による学修カリキュラム～

副学長

はやしだ みつひろ
林田 光祐

4. リコージャパン(株)と山形大学の提案企画が山形県委託業務に2年連続共同採択 ～学習会を通して若者の環境への理解促進をサポート～

学術研究院 教授（有機化学・光化学）

くりやま やすなお
栗山 恭直

5. 教職の魅力創造プロジェクト ～PR動画が完成しました！～

学術研究院 准教授（教育学）

もりた ともゆき
森田 智幸

大学院教育実践研究科 1年

くろさわ りさ
黒澤 里彩

6. 山形の食の魅力発信「やまがた食育・地産地消ガイド2020」を発刊 ～食育・地産地消推進プロジェクトの成果～

地域教育文化学部 地域教育文化学科 4年

さとう しゅん
佐藤 駿

地域教育文化学部 地域教育文化学科 4年

さとう あかね
佐藤 朱音

令和3年（2021年）5月13日

山形大学の新型コロナウイルス感染対策

～授業実施における感染防止の取り組み～

【本件のポイント】

- 感染対策を徹底し、学生の多様な学びの機会を確保
- マスク・手指消毒・三密の回避など一般的な感染対策のほか、独自開発の二次元コードによる着座情報収集システムなど、ICTを活用した先進的な対策を実施
- 十分な感染対策のもとで対面授業のほかアクティブラーニングや実習・実験、フィールドワーク、インターンシップを実施



【概要】

山形大学では、現在の大学教育において社会的に求められている、十分な感染対策をした上で教育効果の高い授業形態による教育の実施や、個々の学生の事情に配慮した多様な学びの機会を提供しています。一般的な感染対策であるマスク着用、手指消毒、三密の回避、行動記録の他に、適切な教室定員の管理、二酸化炭素濃度計を用いた教室換気、独自開発の二次元コードによる着席記録、学生の事情に配慮した受講機会の確保、学外活動や課外活動における活動計画の集約、一元的な健康管理を実施しています。地域の感染状況にもよりますが、今後は講義室における対面授業のほか、十分な感染対策を実施した上で議論や発表を行うアクティブラーニング型授業や実習・実験、学外活動となるフィールドワークやインターンシップを順次実施していきます。

【背景】

現在の大学教育においては、単に対面授業を実施する・しないということだけではなく、十分な感染対策のもと、最も教育効果の高い授業形態による教育の実施や、個々の学生の事情に配慮した多様な学びの機会の提供が社会的に求められています。

山形大学では、一般的な感染対策であるマスク着用、手指消毒、三密の回避、行動記録の他に以下のような取り組みを行い、アクティブラーニングや実習・実験・フィールドワーク・インターンシップといった多様な授業を開講しています。また、個々の学生の事情に配慮した受講方法を提供しています。



【感染対策】

・教室定員の約半分での授業実施

原則として学生間で1.5mの間隔が取れるよう、座席を1つ空けて着席しています。そのような間隔が取れない大人数の授業はオンラインで実施しています。

・講義室換気と二酸化炭素濃度計の活用

小白川キャンパスでは、終日講義室の対角の窓を開放して十分な換気をするとともに二酸化炭素濃度計に連動した換気を行なっています。

・独自開発の二次元コードによる着席記録

学生が各座席の二次元コードをスマートフォンで撮影して着席記録を行い、大学が一元的に管理することで迅速な調査を可能としています。

・学生の事情に配慮したオンライン授業

本人や家族の健康面での事情で通学が困難な学生には、対面で実施されている授業を遠隔で受講できるよう配慮しています。



- ・実習に備えたPCR検査の実施

学外の人々と接触する可能性のある実習においては、参加前にPCR検査を実施している科目もあります。

- ・課外活動状況の把握

サークル活動などの課外活動は事前に活動計画を提出し、活動は許可制としています。

- ・一元的な健康管理と迅速な意思決定

学生や教職員の健康状態を保健管理センターが一元的に管理し、それをもとに迅速な意思決定を行います。



【今後の展望】

世界的に新型コロナウイルス感染症の収束が不透明な状況下、今後も学生の目線で質の高い大学教育を継続的に提供していきます。

お問い合わせ

学術研究院 教授 千代 勝実 (基盤共通教育担当)

TEL 023-628-4973 メール senyo@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp



山形大学の 新型コロナウイルス感染対策

～授業実施における感染防止の取り組み～



山形大学 学士課程基盤教育機構 千代 勝実

【本件のポイント】

- 感染対策を徹底し学生の多様な学びの機会を確保
- マスク・手指消毒・三密の回避など一般的な感染対策のほか、独自開発の二次元コードによる着座情報収集システムなど、ICTを活用した先進的な対策を実施
- 十分な感染対策のもとで対面授業のほかアクティブラーニングや実習・実験、フィールドワーク、インターンシップを実施

【背景】

- 十分な感染対策のもと、最も教育効果の高い授業形態による教育の実施や、個々の学生の事情に配慮した多様な学びの機会の提供への社会的要請
- 一般的な感染対策であるマスク着用、手指消毒、三密の回避、行動記録の他、さらなる感染対策のもとで対面授業のほかアクティブラーニングや実習・実験、フィールドワーク、インターンシップを実施

【独自の感染対策】

- 教室定員の約半分での授業実施
 - 学生間隔を約1.5mとして着席
- 講義室換気と二酸化炭素濃度計の活用
 - 対角窓開放と二酸化炭素濃度計によるモニター
- 独自開発の二次元コードによる着席記録
 - 各座席の二次元コードを学生が撮影し
大学で記録



- 学生の事情に配慮したオンライン授業
 - 健康上の理由で通学困難な学生にオンライン授業提供
- 実習でのPCR検査の実施
 - 学外での実習では参加前PCR検査
- 課外活動状況の把握
 - サークル活動等は事前に活動計画書提出・許可制
- 一元的な健康管理と迅速な意思決定
 - 学生・教職員の健康状態の把握と迅速な意思決定

【まとめ】

学生やご家族、地域の状況に配慮しながら、
十分な感染対策のもと、効果的な教育を提供

山形大学の教育の強みである
地域での実習・フィールドワーク・インターンシップなど
学生が主体的に取り組む課題解決型授業を実施

地域の感染状況に応じて対面・オンラインといった
授業形態を柔軟に変更

お問い合わせ

学術研究院 教授 千代 勝実 (基盤共通教育担当)

TEL 023-628-4973 メール senyo@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp



令和3年(2021年)5月13日

2021年度JT「SDGs貢献プロジェクト」に採択

【本件のポイント】

- 山形大学は、昨年の「YU empowering with SDGs (※1)」宣言により、社会の持続可能な発展に向けた地域の取組を積極的に empower! しています。
- このたび、2021年度JT「SDGs貢献プロジェクト(※2)」に本学申請事業「SDGsビジネスプランコンテストによる事業化支援および学生SDGsプロジェクトコンテストによる活動支援」が採択。
- 本採択により、JT山形支店様とのパートナーシップで本学のSDGsに関するビジネスプランコンテストと学生によるプロジェクトをempower! します。



山形大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

【概要】

本学が全学を挙げて取り組んでいるSDGs推進活動が、日本たばこ産業(JT)が実施する2021年度JT「SDGs貢献プロジェクト」に採択されました。このプロジェクトは、「格差是正」、「災害分野」、「環境保全」に取り組む団体の事業を支援するもので、山形大学では初めての申請・採択となります(助成期間は令和3年5月から令和4年4月までの1年間、助成金150万円)。事業名は「SDGsビジネスプランコンテストによる事業化支援および学生SDGsプロジェクトコンテストによる活動支援」。本学が行っている、起業家育成講座「EDGE-NEXT 起業家育成プログラム」と、学生活動プロジェクトコンテスト「山大生の活動支援プロジェクト」において、YU-SDGsパートナーであるJT山形支店様とのパートナーシップにより、地域のSDGsをさらにempower! します。

次世代の社会を担う若者に対して、SDGsに貢献できる活動を支援することで、直接的な効果はもとより地域の意識変化を促す効果が期待されます。

【JT「SDGs貢献プロジェクト」助成金交付式】

日時：令和3年5月13日(木) 10:30- 本学法人本部第二会議室 (本会見の直前に実施)

⇒JT山形支店の^{すみやけんじ}墨谷健二支店長様から玉手英利学長へ助成金交付書を手交いただきました。

【背景】

昨今の大きな社会問題である「少子高齢化」「人口減少」は、山形県においても顕著であり、自然減少に加え進学・就職時における若者の県外転出などにより人口減少が続いている。さらに人口減少の進行により、生産活動の低下、支え合いなどの地域コミュニティの弱体化といった様々な影響が懸念されている。

山形大学では、将来の社会の担い手となる若者に対し、イノベーションを起こし地方活性化を自らが体現するための教育に積極的に取り組んでおり、2017年(平成29年)からは早稲田大学と連携した「次世代アントレプレナー(起業家)育成事業」を開始し、自らがビジネスプランを構築・起業を目指す学生を育成してきた。2021年2月現在で、学生起業4社が設立された実績がある。しかし、ビジネスプラン事業化にはスタートアップ資金が必要な場合が多く、公的資金で運用する国立大学としては金銭的な支援が不可能であるため、さらなる事業化の促進のためには民間資金等のスポンサーによる支援が切望されている状況にある。

また、主に学生サークル等を対象とした地域貢献活動へのプロジェクト支援を継続して行っており、さらなる支援によって一層の活動の活性化が期待できる。

お問い合わせ

YU-SDGs タスクフォース

エンrollment・マネジメント部国際交流課・課長 今野 浩美

TEL 023-628-4118 メール rgkokusai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

【YU-SDGsパートナーの現況と今後の展望】

本学では、昨年7月の「YU empowering with SDGs」宣言及び8月の「山形県、山形大学及び山形新聞社によるSDGsの推進に向けた共同宣言」により、社会の持続可能な発展に向けた地域の取組を積極的にempower!し、「YU-SDGsパートナー」として20以上の企業・自治体・教育機関・政府機関等と協働しています。

今回の助成金採択は、YU-SDGsとして初の助成金採択であり、これにより、従来からSDGsに貢献している本学の起業家育成プログラムと学生活動支援プロジェクトを費用面から支援することが可能となりました。今後は、県内企業等を中心にさらなるパートナーシップの拡大と深化を図り、SDGsの各目標の達成に貢献してまいります。

※用語解説

1. YU empowering with SDGs :

総合大学である山形大学が、研究や教育活動、学生サークル活動等により地域のSDGsを積極的に支援していく事業の総称。「力づける、力を与える」という意味のempower!をキーワードに、地域社会の発展のために全学をあげてSDGs推進活動に取り組んでまいります。



- #### 2. JT「SDGs貢献プロジェクト」:
- JTは「Rethink PROJECT (リシンク・プロジェクト)」として、地域に根差した活動を実施しています。Rethink PROJECTはこれまでにない視点や考え方を活かして、パートナーのみなさまと「新しい明日」をともに創りあげていくために、社会課題と向き合うプロジェクトです。その取り組みの一環として、「SDGs貢献プロジェクト」ではJTの地域社会への貢献活動の重点3領域である「格差是正」、「災害分野」「環境保全」につながり、包括的かつ持続可能な地域社会の発展に貢献する活動を支援しています。



令和3年（2021年）5月13日

基盤共通教育科目「YU empowering with SDGs」を開講

～県内企業、自治体等との連携による学修カリキュラム～

【本件のポイント】

- 今年2月に実施した「SDGsに関する意識調査アンケート」では、昨年7月に行った同調査と比べ、本学学生と教員のSDGs認知度が大幅にアップ（学生：69.2%⇒89.0%、教員：43.4%⇒83.7%）
- 令和3年度に本学が開講する全4158科目のうち、3446科目がSDGsの17目標のいずれかに関連（全体の82.9%）。
- 令和3年度から基盤共通教育科目「YU empowering with SDGs～ローカルSDGsの実践」を新たに開講（右：4/26の講義）。



【概要】

本学では、昨年7月に“YU empowering with SDGs”の方針を掲げ、様々なSDGs活動をempower!しています。その結果、今年2月に実施した「SDGsに関する意識調査アンケート」では、昨年7月に行った同調査と比べ、本学学生と教員のSDGs認知度が大幅にアップし（学生：69.2%⇒89.0%、教員：43.4%⇒83.7%）、令和3年度に本学が開講する全4158科目のうち、3446科目がSDGsの17目標いずれかに関連（全体の82.9%）するなど、SDGsを実践する意識は確実に向上しています。

このような中、上記アンケートに寄せられた“SDGsを大学で学びたい”という学生の意見も踏まえ、今年度基盤共通教育科目として「YU empowering with SDGs～ローカルSDGsの実践～」を新たに開講しています。本科目は、「本学のSDGsに関連する教育・研究と山形県内の企業・自治体等における先進的なSDGsの実践を学ぶことによって“自分ごと”としてSDGsを捉え、行動できるようになること（シラバス（授業計画）より ※P4参照）」を目的とし、県内の7名のローカルSDGsの実践者から講演いただき、学部1年生を中心に約60名が受講しています。

【SDGsに関する意識調査アンケート】

山形大学では、前回（2020年7月）のアンケートを踏まえ、SDGsに関するポータルサイトの開設や、セミナー、学生シンポジウムの開催などを行ってきましたが、学内における認知状況の変化を確認し、今後の取り組みに反映することを目的に第2回のアンケートを行いました。概要は以下のとおりです。

- 期 間：【学生用】2021年2月2日～2月15日
【教員・職員用】2021年2月3日～2月15日
⇒前回より2、3日長い
- 方 法：【学生用】web方式のアンケートをWebClass（学習支援システム）で依頼
【教員・職員用】web方式のアンケートをメールで依頼
⇒前回と同じ
- 回答率：【学生用】7.7%（671/8664）（前回：19.2%）
【教員用】27.0%（227/842）（前回：32.8%）
【職員用】22.0%（309/1402）（前回：38.7%）

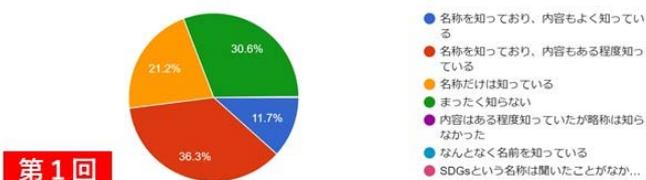
【学生用】

- ボックス前回同様、学部1年生の回答が半数近く、低学年ほど回答率が高い。
- 「名前だけは知っている」まで加えると、69.2%⇒89.0%と認知度は格段にアップ。
- 「SDGsをどこで知りましたか？」では、前回の「小中高の授業」から今回は「大学の講義」が1位に。
- 「大学でSDGsを学びたいですか？」では、「とても思う」+「まあまあ思う」が前回75.6%⇒81.7%と大幅増。

【学生用】

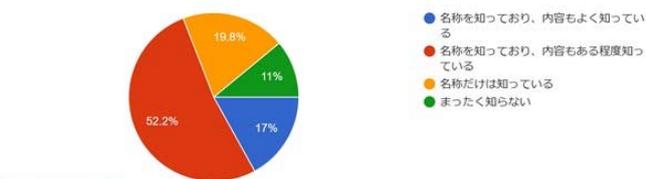
Q3 あなたはSDGsを知っていますか。

Q4 あなたは「SDGs（持続可能な開発目標）」を知っていますか？
1,666件の回答



第1回

Q3 あなたは「SDGs（持続可能な開発目標）」を知っていますか？
671件の回答



第2回

「名前だけは知っている」まで加えると、69.2%⇒89.0%と認知度は格段にアップしている。

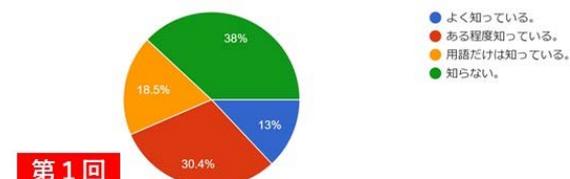
【教員用】

- 認知度（「よく知っている」+「ある程度知っている」）が前回43.4%⇒83.7%と大幅増。
- SDGsに関する教育を「行っている（行う予定）」が17.8%⇒43.2%と大幅増。
- SDGsに関する研究を「行っている（行う予定）」が21.0%⇒38.3%と大幅増。

【教員用】

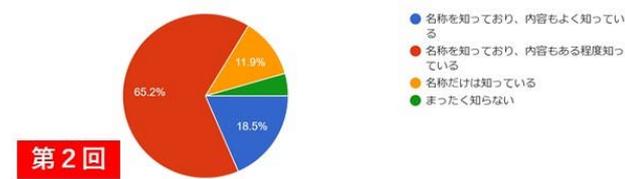
Q4 あなたはSDGsを知っていますか？

Q4 SDGsを知っていますか？
276件の回答



第1回

Q4 あなたは「SDGs（持続可能な開発目標）」を知っていますか？
227件の回答

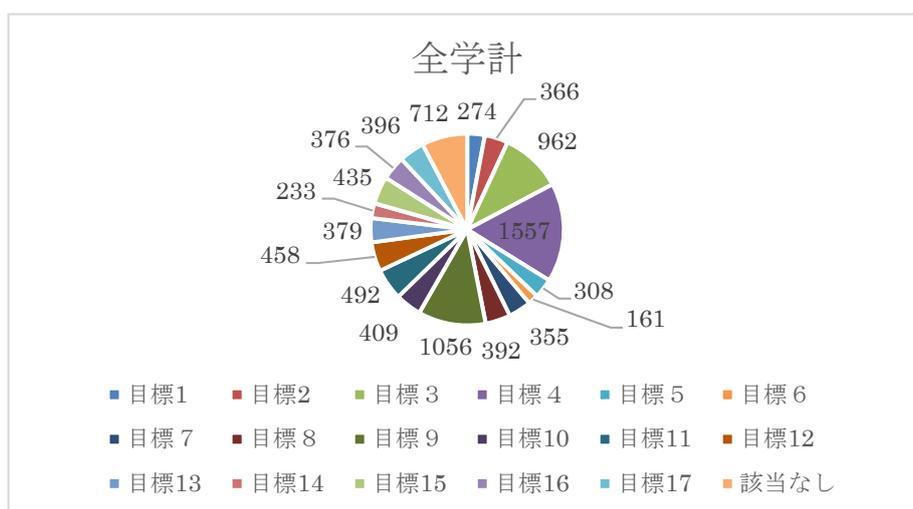
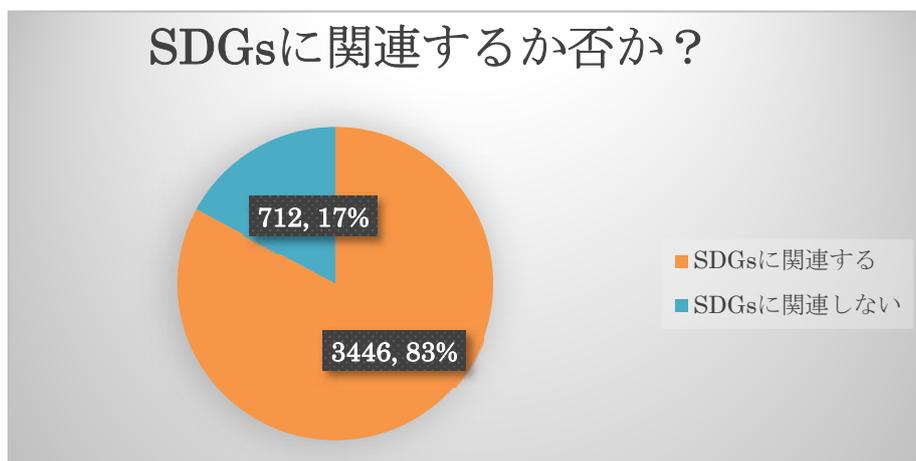


第2回

「よく知っている」+「ある程度知っている」が前回43.4%⇒83.7%と大幅増。

【令和3年度開講科目におけるSDGsの関連状況】

令和3年度のシラバス（授業計画）から、講義等を担当する各教員がSDGsの17目標のいずれに関連するか、あるいは否かを判断し入力できるシステムに改修しました。その結果、令和3年度に本学が開講する全4158科目のうち、3446科目がSDGsの17目標のいずれかに関連することがわかりました（全体の82.9%）。



目標別では、1位が目標4「質の高い教育をみんなに」が1557科目、2位が目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」で1056科目、3位が目標3「すべての人に健康と福祉を」で962科目となっています。

【今後の展望】

- 本学の学生・教員のSDGs認知度は、昨年度の取組効果もあり、80%以上になりましたが、今年度もさらなる“empower!”を継続し、年度末の「第3回SDGsに関する意識調査アンケート」では、回答率の向上を図りながら、90%以上の認知度を目指します。
- 新開講の基盤共通教育科目「YU empowering with SDGs」の教育効果を見極めつつ、ローカルからグローバルSDGs人材教育への展開、さらには各学部における専門教育への波及を図ります。

お問い合わせ
 YU-SDGs タスクフォース
 エンrollment・マネジメント部国際交流課・課長 今野 浩美
 TEL 023-628-4118 メール rgkokusai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

【令和3年度「YU empowering with SDGs～ローカルSDGsの実践～」シラバス】

担当教員：林田光祐、栗山恭直、下平裕之、古川英光+外部講師7名

担当教員の所属：YU-SDGsタスクフォース+やまがたSDGs推進ネットワーク（YES-Net）

開講学期：前期 単位数：2単位 開講形態：講義 領域：応用と学際

【授業概要】

・授業の目的

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標（SDGs：Sustainable Development Goals）のアウトラインと特徴を理解した上で、本学のSDGsに関連する教育・研究と山形県内の企業・自治体における先進的なSDGsの実践を学ぶことによって、“自分ごと”としてSDGsを捉え、行動できるようになることを本授業の目的とする。

・到達目標

- 1) SDGsのアウトラインと本学を含むローカルSDGsの実践を理解する。
- 2) 1)を理解した上で、“自分ごと”としてSDGsの達成に貢献しうる行動ができるようになる。

【授業計画】

・授業の方法

- 1) この授業は対面の講義形式で行うことを原則とする（新型コロナウイルス感染症の状況によりオンラインで行うこともある）。
- 2) 主担当教員や副担当教員（YU-SDGsタスクフォースメンバー教員）、さらにはローカルSDGsの実践者（企業、自治体等）によるオムニバス講義を行い、幅広いSDGsの知識と実践を学修できる。
- 3) 2)による学修後に、“自分ごと”として行動できるような行動計画をグループでまとめ、口頭発表を行う。グループは受講者の人数に応じて第3回目の授業で編成する。

・日程 月曜日7～8校時 14:40～16:10

- | | |
|-------------|-----------------------------------|
| 第1回（4月19日） | ガイダンス・SDGsのアウトライン（オンデマンド） |
| 第2回（4月26日） | YU-SDGsとやまがたSDGs推進ネットワーク（YES-Net） |
| 第3回（5月10日） | グループ分けと今後の活動の説明 |
| 第4回（5月17日） | 外部講師による講義 飯豊町企画課 高橋弘之課長 様 |
| 第5回（5月24日） | 同上 (株)モンテディオ山形 神村昌志営業部長 様 |
| 第6回（5月31日） | 同上 日本たばこ産業(株)山形支店 墨谷健二支店長 様 |
| 第7回（6月7日） | 同上 (株)山形新聞社 峯田益宏編集局次長 様 |
| 第8回（6月14日） | 同上 山形大学生生活協同組合 高橋直也専務理事 様 |
| 第9回（6月21日） | 同上 リコージャパン(株)山形支社 佐藤亮敏 様 |
| 第10回（6月28日） | 同上 NPO法人知音 山崎多代里代表 様 |
| 第11回（7月5日） | グループ別活動（オンラインを使用する場合がある） |
| 第12回（7月12日） | グループ別活動（オンラインを使用する場合がある） |
| 第13回（7月19日） | グループ別活動（オンラインを使用する場合がある） |
| 第14回（7月26日） | 発表会 |
| 第15回（8月2日） | まとめ |

令和3年（2021年）5月13日

リコージャパン(株)と山形大学の提案企画が山形県委託業務に2年連続共同採択 ～ 学習会を通して若者の環境への理解促進をサポート ～



【本件のポイント】

- 昨年度に引き続き山形県の委託業務である「若者向け環境SDGsワークショップ開催支援」にリコージャパン株式会社と山形大学による共同企画が採択された。
- リコージャパン株式会社のこれまでのSDGsに蓄積されたノウハウを活かし、山形大学をはじめとする県内高等教育機関の人材が講師を努め、県内の高校、短大、大学等を対象にSDGsの環境に関するワークショップを開催する。



【概要】

山形県が企画提案を募集した「令和3年度若者向け環境SDGsワークショップ開催支援業務」に、リコージャパン株式会社山形支社と山形大学が提案した企画が昨年に引き続き採択されました。この事業は、持続可能な開発目標（SDGs）、地球温暖化及び気候変動適応に関するワークショップの開催を支援することにより、「環境・経済・社会」の相互の関わりを踏まえた環境問題に対する若者等の理解を促進するとともに、環境問題の「自分ごと」化及び意識変革や率先行動につなげ、ゼロカーボン社会の実現に貢献できる人材の育成を図ることを目的とするものです。（委託期間：契約締結日～令和4年3月11日、事業費（委託上限費）：2,000,000円）。

ワークショップの開催を希望する学校等が「SDGs（環境分野）」「地球温暖化」「気候変動適応」の中から学習テーマを選定し、学習会でグループワーク等を取り入れながら、座学だけでなく参加型の学習を通して、参加者自らが考え、意見を述べ、参加者同士が多様な考えを共有することで、環境への理解促進を図ります。

【昨年度の実績について】

昨年度10校（高校10・大学1）から申し込みがあり13回開催し、477名の参加者があった。サステナミューズ代表の佐藤氏によるSDGsのカードゲームを始め、エネルギー・地球温暖化・プラスチックなど講演会が行われた。

【ワークショップについて】

SDGsを知り、地域の中で「自分ごと化」するきっかけにつながる教育コンテンツを提供し、地域における「ローカルSDGs」の推進、ひいては、中長期での山形における地域創生推進のための人材の育成を目指す。

県内の高校、短大、専門学校、大学及び大学院を対象に5月から募集を行い、来年3月までに20回以上の実施を予定している。

- ・単なる座学ではなく、アクティブ・ラーニングの手法を中心とする。（レクチャー、グループディスカッション、山形大学生連携でのワークショップ、ゲーミフィケーション等）
- ・グローバルな社会課題、環境問題とその解決策に対しての科学的なアプローチを学ぶ。
- ・企業のCSR活動や課題認識の理解を通じ、イノベーションの種ができる学びを行う。
- ・山形県の地域課題に特化したシミュレーションゲーム体験を通じて、ローカルSDGsを体感的に習得する。

県内の大学が連携して講師を努めながら、SDGsの普及活動を学生参画のもと行っていく。

対面での講義形式の他に、新型コロナウイルス感染症への対策として、大学と会場とを遠隔システムを使って開催するオンラインでの講義など、状況に応じ新しい生活様式に準拠して実施する。

お問い合わせ

学術研究院 教授 栗山 恭直 (理学部担当/有機化学・光化学)

TEL 023-628-4586 (教員居室)

023-628-4506 (山形大学 SCITA センター)

メール su187@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp

令和3年（2021年）5月13日

教職の魅力創造プロジェクト ～PR動画が完成しました！～

【本件のポイント】

- 全国的にも本県にとっても教員志願者数の減少が深刻であり、教職を目指す優秀な人材の裾野を広げることは喫緊の課題となっている。
- 本プロジェクトは、こうした課題に大学、教育委員会、地域が一体となって取り組む先駆的な事例として、文部科学省の委託事業「令和2年度教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」に「教職の魅力向上に関する取組」の中で第一位の評価で採択された。
- 本プロジェクトに参加した学生が中心となり、地元企業と協働して教職を目指す魅力をPRする動画を作成。県内の中学校や高校等での活用を通して教職に対する関心を喚起し、山形県内の教員養成を担う学部への進学者、教員志願者の増加につながることを期待される。



【概要】

教員志願者数の減少が深刻な事態となっています。特に本県は、大学進学率の停滞、教員志願者数の減少が顕著です。教員の大量退職・大量採用が進行する現在、教職を目指す優秀な人材の裾野を広げることは喫緊の課題です。本学大学院教育実践研究科と地域教育文化学部では、教職を目指す県内の高校生や大学生を主体として、山形県教員委員会と協働して、令和2年度から、教職の魅力を作り出すプロジェクト「教職の魅力創造プロジェクト」を企画・実施してきました。このプロジェクトは、こうした課題に大学、教育委員会、地域が一体となって取り組む先駆的な事例として、文部科学省の「令和2年度教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」に「教職の魅力向上に関する取組」の中で第一位の評価で採択されました。

活動の柱は、高校生、大学生が活動を通して自ら「教職の魅力」を見出す「教職の魅力創造プログラム」と、高校生と大学生も参加し、大学、県教育委員会が一体となって教職志願への早期啓発を推進する「教職の魅力創造プラットフォーム会議」です。

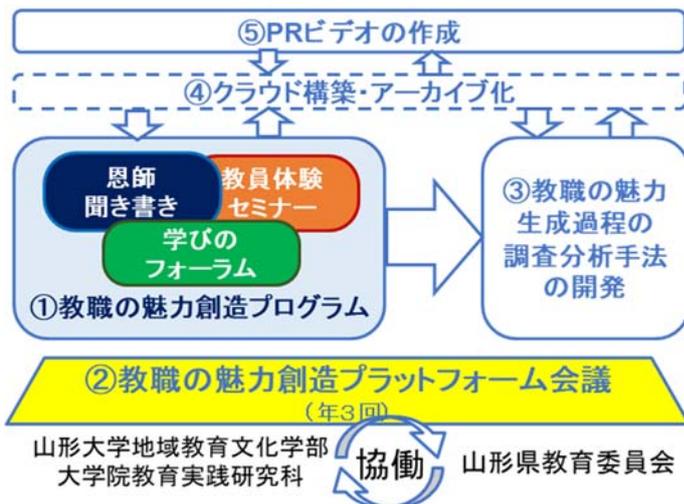
昨年度の活動を基に、本プロジェクトに参加した本学の学生が中心となって、株式会社田宮印刷、株式会社FLOTと協働して大学に進学して教職を目指す魅力をPRする動画を作成しました。今回の動画は、高校生はもちろん、これまで本学がターゲットにできていなかった中学生とその保護者も視聴者として想定して作成しました。動画は本学地域教育文化学部の特設ページを設け、誰でもご覧いただけます。中学校や高校のキャリア教育等、様々な場面でご活用ください。

【プロジェクト創設の背景】

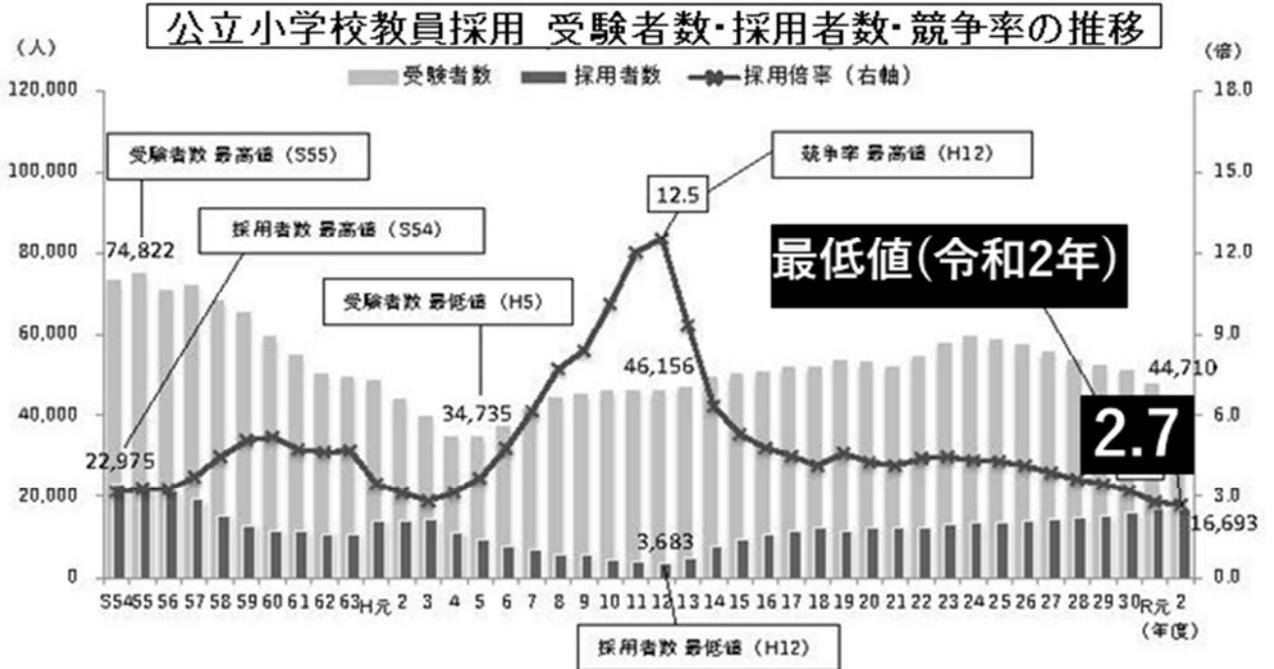
大学進学率の停滞、教員志願者数の減少は本県にとって喫緊の課題となっています。しかし、こうした課題に、大学と教育委員会、地域が一体となって取り組む事例はまだ多くはありません。本学では、全国に先駆けた先進事例の創出を目指し、「教職の魅力創造プロジェクト」を立ち上げました。

【教職の魅力創造プロジェクトとは】

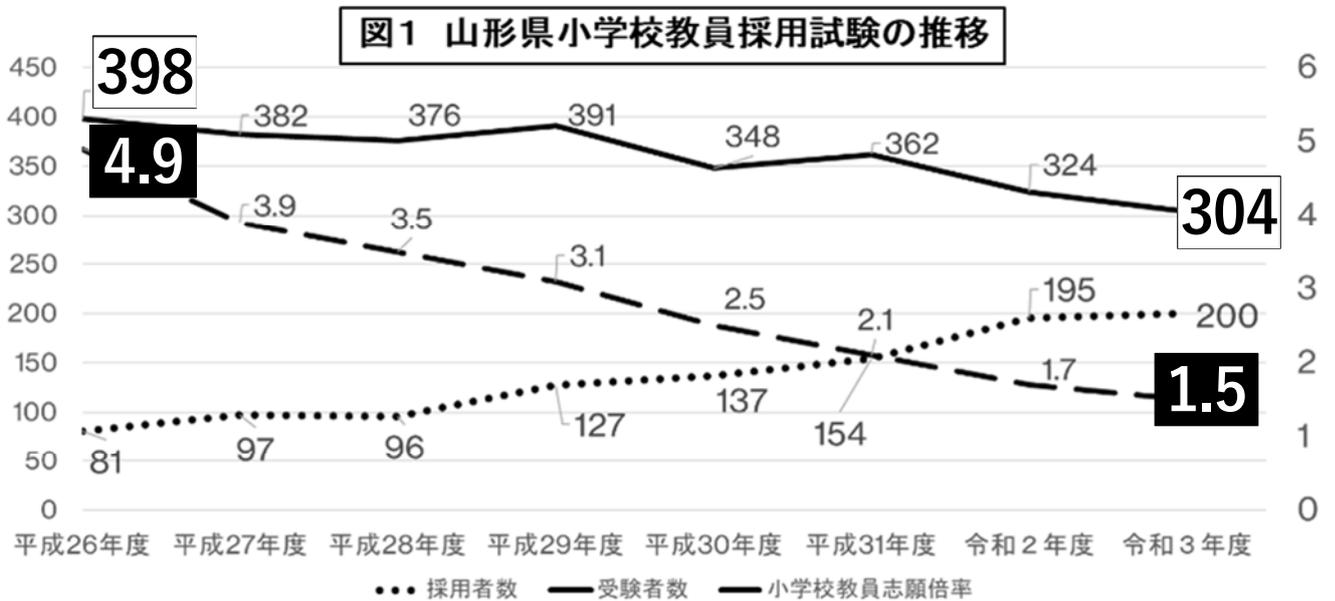
本プロジェクトでは、本学教員、山形県教育委員会、本県公立学校校長、プロジェクト企画のプログラム参加校の教員、そして、本学学生と高校生も参加する「教職の魅力創造プラットフォーム会議」を設置し、地域との一体的な活動を推進してきました。活動の柱は「教職の魅力創造プログラム」です。高校



生と大学生、社会人が対等に学び合う場である「学びのフォーラム」、高校生と大学生の共同インターンシップ「小学校教員体験セミナー」、大学生と教員の対話の場「恩師聞き書き」の3つの活動で構成しています。昨年度、本学学生を中心として、高校生の声をいかし、株式会社田宮印刷、株式会社FLOTと協働して、これらの活動を基盤としたPR動画を作成しました。



文部科学省(R2.3.3.)公立学校教員採用選考試験の実施状況のポイントより



文部科学省「公立学校教員採用選考試験の実施状況について」(平成26年度から令和元年度) 山形県公立学校教員選考試験第二次選考試験合格者数一覧(令和二年度、三年度)より作成。

【PR 動画の活用をお願い】

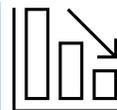
このPR動画は、中学生や高校生が、大学に進学し教職を目指すことをイメージできるように作成しました。本学地域教育文化学部の特設ページから動画をご覧ください。中学校や高校のキャリア教育等、様々な場面の活用をお願いします。

お問い合わせ
 学術研究院 准教授 森田智幸 (教育学/大学院教育実践研究科担当)
 TEL 023-628-4396 メール morita@e.yamagata-u.ac.jp

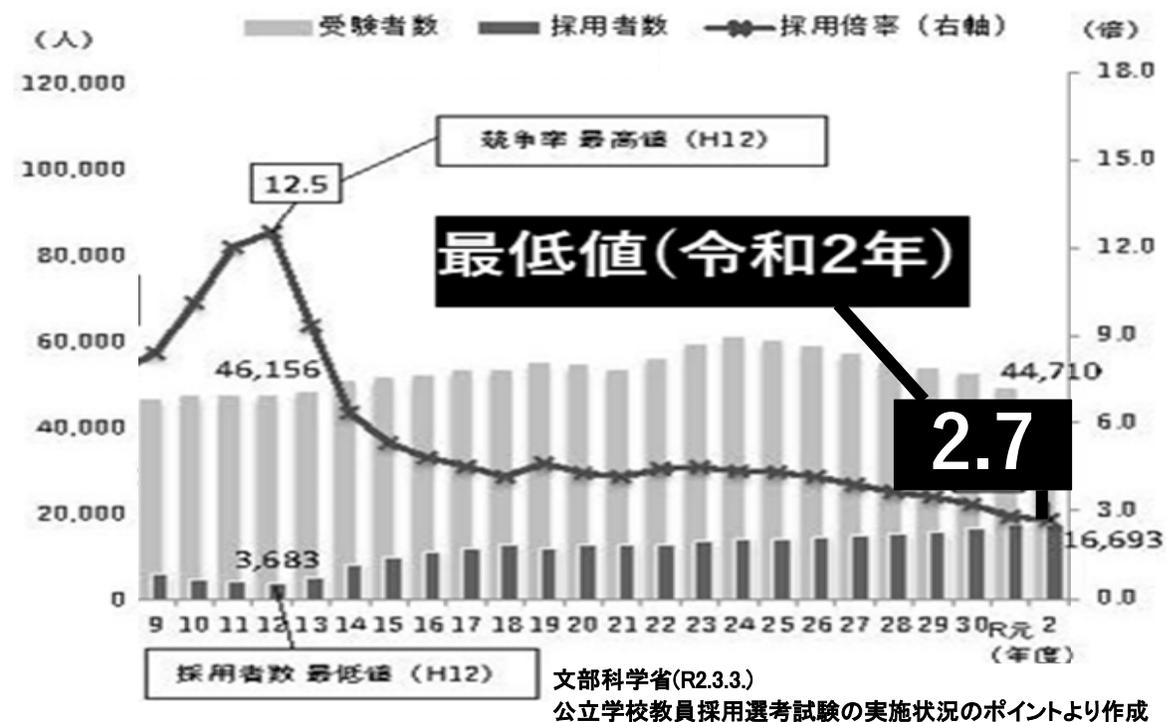


深刻な課題

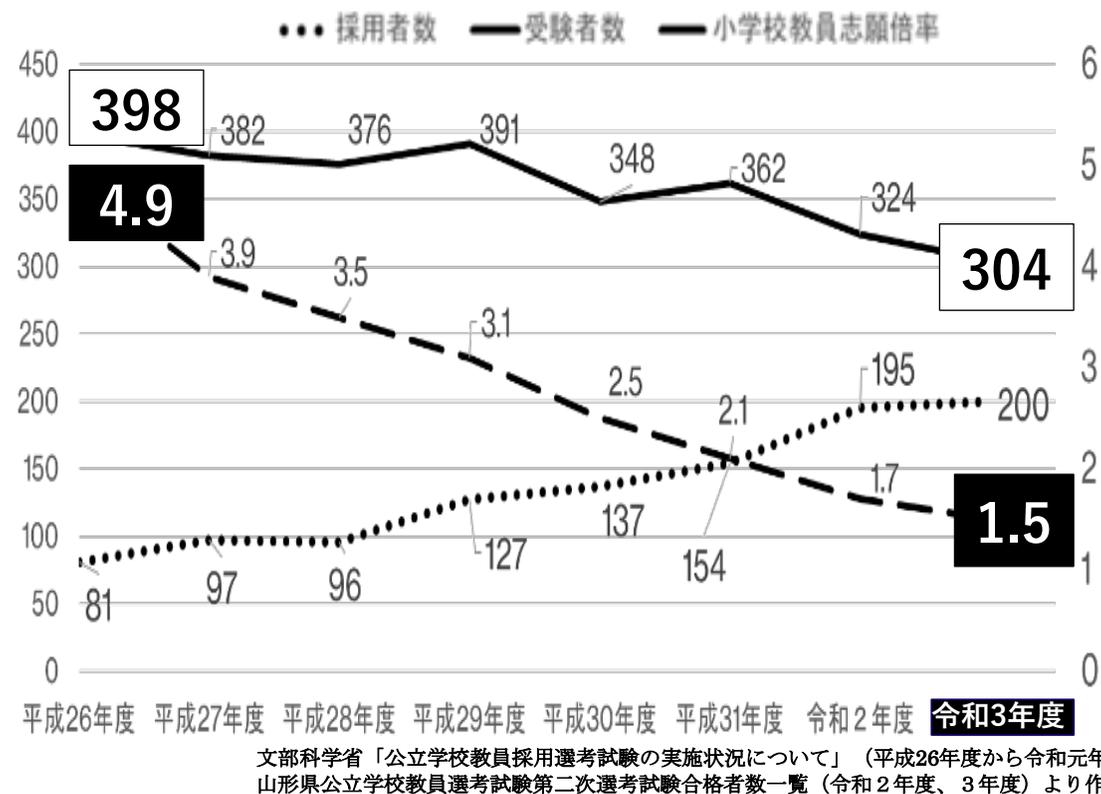
教員志願者数の減少



全国公立小学校教員採用 受験者数・採用者数・競争率の推移



山形県公立小学校教員採用 受験者数・採用者数・競争率の推移



次の一手

大学・教育委員会・学校
 一体となった取り組み



全国に先駆けて

はじめました。

教職の魅力創造プロジェクト



第1位の評価で採択

文部科学省

令和2年度教員の養成・採用・研修の一

体的改革推進事業

(教職の魅力向上に関する取組)



協働的に推進します。

教職の魅力創造
プラットフォーム会議



大学生

高校生

副学長

(教育担当理事)

県教育委員会



地域教育文化学部
学部長
大学院教育実践研究科
研究科長

公立学校

校長

(高・義務)



大学教員

高校教員





魅力発見！
プログラムをつくりました。

教職の魅力創造
プログラム



学びの
フォーラム

高校生・大学生・社会人の
合同ゼミナール

恩師
聞き書き

大学生と教員の
対話の場

教員
体験セミナー

高校生・大学生の
合同インターンシップ

※県教委との共催





魅力を伝えたい！
PR動画をつくりました。

山形大学 地域教育文化学部
 Yamagata University
 地域教育文化学部

教職の魅力創造プロジェクト

山形大学大学院教育実践研究科「教職の魅力創造」特設サイト

教職の魅力創造プログラム

教師になりたい全ての人を3つのプログラムで応援します！

- 教員体験セミナー**
山形県教員委員会と共催
- 学びのフォーラム**
高校生以上のすべての人対象
- 恩師聞き書きプログラム**
本学学生対象

学生インタビュー

- 【山形大学】学生が考える！教職の魅力...
教職の魅力とは？
黒澤 麗彩さん
- 【山形大学】学生が考える！教員を目指...
教員を目指したきっかけは？
黒田 ももかさん
- 【山形大学】学生が考える！山大で教職...
山大で教職をとるメリットは？
越後 セツ美さん
- 【山形大学】学生が考える！山大で学ん...
山大で学んで良かったことは？
戸野 ひよりさん

地域教育文化学部
 大学院教育実践研究科
 教職の魅力創造プロジェクト
 特設サイト



Yamagata University
 山形大学
 バーチャルオープン
 キャンパスサイト

- HOME
- 受験生・高校生の方へ
- 高校教員の方へ
- 保護者の方へ
- 入試対策講座
- オンライン個別相談
- 学部紹介
- 山形大学スペシャル動画
- キャンパス風景（動画）
- 研究者インタビュー（動画）
- 学生紹介

山形大学大学院 教育実践研究科
 准教授
森田 智幸
 一つ目は教師でしか見ることができない夢があるということですかね

教職の魅力とは？

森田 智幸 准教授（大学院教育実践研究科）

地域教育文化学部

地域教育文化学部
 バーチャルオープンキャンパスサイト



令和3年（2021年）5月13日

山形の食の魅力発信「やまがた食育・地産地消ガイド2020」を発刊 ～食育・地産地消推進プロジェクトの成果～

【本件のポイント】

- 本学地域教育文化学部の学生が主体的に取り組んだ、食育・地産地消推進活動の成果として、「やまがた食育・地産地消ガイド2020」を発刊。
- 食育・地産地消をキーワードに、山形県の地場産食材を使った料理や郷土料理の調理動画の作成、地産地消に積極的なお店の紹介などの情報を発信！！
- 食育・地産地消推進活動を通してSDGsの目標達成への貢献を目指す。



【概要】

山形大学地域教育文化学部では、3年生を対象とした授業「フィールドプロジェクト（FP）」（令和2年度）の中で、食育・地産地消を推進するためのプロジェクト（C4）を実施しました。昨年度はコロナ禍において活動が制限される中、Ymgt Eats^(※1)のメンバーとして学生が行った活動の成果を、「やまがた食育・地産地消ガイド2020」としてまとめ、令和3年3月、冊子として発刊しました。主な内容は、①山形県の地場産食材（赤根ほうれん草、食用菊）や郷土料理（納豆汁）の紹介と調理動画（QRコードを読み込み、YouTubeで視聴）、②地産地消に取り組むお店（2店舗）へのインタビューとなっています。希望者には、送料自己負担にて無料で配布いたします。詳細は、お問い合わせ先まで。

【取り組み内容と成果】

「フィールドプロジェクト（FP）」は、地域教育文化学部3年生を対象とした必修の授業科目で、異なる専門分野で学ぶ3年生が、協働的、能動的（アクティブ）に地域と連携した活動を実施することを目的としています。学内での学びのみに終始せず、実際に行政や関係機関と密接な関係を構築し、何よりも地域の方々と直接的に交わり関わり合う中で、実践的な思考と知見とを得ることを目指しています。

令和2年度の授業において、食育・地産地消を推進するためのプロジェクト（C4）を実施しました（担当：楠本健二准教授）。コロナ禍において、活動が制限される中、Ymgt Eatsメンバー11名が企画から意見を出し合って実施した活動の成果として「やまがた食育・地産地消ガイド2020」をまとめ、冊子として発刊しました。山形県の在来作物（伝統野菜）である赤根ほうれん草、山形県の特産品である食用菊、山形県の郷土料理である納豆汁を取り上げ、プロジェクトメンバーがそれぞれの班に分かれて食材や郷土料理について学び、調理動画を撮影、編集しました。動画は冊子内のQRコードを読み込むことで視聴することができます。

活動を通して学生自らの食育や地産地消に関する知見も深まりました。食育の重要性が言われている中で、大学生を中心とした若い世代が郷土料理や地域の特産食材についての情報を発信することによって、これまで関心を示していなかった同世代の人たちに少しでも興味を持ってもらうきっかけを作ることができれば幸いです。

【今後の展望】

完成したガイドブックは、学内を中心に様々な場所で配布する予定です。なお希望者にも配布し、活用いただきたいと考えています。近年、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた活動が多く行われている中で、食育活動も、SDGsの達成に貢献できるものだと考えられており、注目されています。YU-SDGs EmpowerStation (<https://sdgs.yamagata-u.ac.jp/index.html>)へも本活動を登録しています。今後、様々な関連団体との連携を模索しながら本活動を継続し、SDGsの目標達成への貢献ができればと考えています。

お問い合わせ

学術研究院 准教授 楠本健二 (栄養学/地域教育文化学部担当)

TEL 023-628-4464 メール kusumoto@e.yamagata-u.ac.jp

※用語解説

1. Ymgt Eats : 山形の食の魅力を伝えるための活動団体名として学生たちが考えました。Yamagata Eats (ヤマガタ イーツ) と読みます。併せてロゴマークも考え、Ymgt Eats の文字のそれぞれの色が、SDGs の 8 つの目標の色となっています。ガイドブックの裏表紙に掲載されています。



山形の食の魅力発信！！

「やまがた食育・地産地消ガイド2020」を発刊
～食育・地産地消推進プロジェクトの成果～

山形大学地域教育文化学部地域教育文化学科

文化創生コース 佐藤 駿

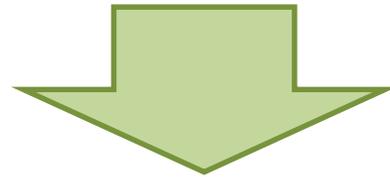
児童教育コース 佐藤朱音

実施参加者：11名（文化創生コース10名、児童教育コース1名）

本活動の目的



地域において食育・地産地消を推進する役割を担うことのできる人材になる



学生が主体的・積極的にコミュニケーション・協働

活動開始の前に



- **活動団体名を考えた**

Ymgmt Eats（ヤマガタ イーツ）。

私たち、は山形県の食育・地産地消を推進することを目的として結成しました。

活動を通して山形の食育・地産地消に関する情報、身近なところに存在する山形の誇れるお店の数々を多くの人に知ってもらいたいと考えています。

- **活動のためのオリジナルTシャツの作製**

本団体が一丸となって活動するための共通のTシャツをデザイン作製した。

活動の概要



コロナ禍における活動の制限。。。。

食育・地産地消推進のための食育パンフレット（小冊子）づくり

【詳細】

- ①山形の食材を使った料理のレシピ動画制作
- ②地産地消に取り組むお店へのインタビュー
- ③パンフレット（小冊子）の作成と情報発信

①山形の食材を使った料理のレシピ動画制作



メンバーを3つのグループに分けて活動を進めた。

【活動内容】

- 山形県の郷土料理や食材についての調査
- 作ってみたい料理や使ってみたい食材の選定
- 実際に調理するレシピの決定
- 調理風景の撮影&編集を行いレシピ動画を作成

①山形の食材を使った料理のレシピ動画制作



【実際に調理したもの】



食用菊とブロッコリーの Pasta



納豆汁



赤根ほうれん草と菊の生春巻き

①山形の食材を使った料理のレシピ動画制作

【食用菊とブロッコリーのパスタ】



作
っ
て
み
よ
う
!!

レシピ動画公開中!!
下記のQRコードから
観ることが出来ます。



栄養成分表示 (1人分)

- ① エネルギー … 342kcal
- ② タンパク質 … 9.8g
- ③ 脂 質 … 14.9g
- ④ 炭水化物 … 40.3g
- ⑤ 食塩当量 … 1.7g

1食あたり

約370円

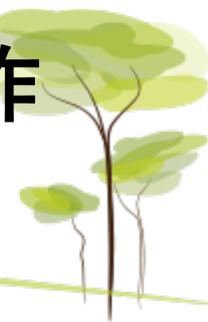


食育 豆知識



食用菊には、独特の風味やえぐみがありますが、これはクロロゲン酸などのポリフェノール類やテルペノイド類など多くの機能性成分が含まれているためです。これらは強力な抗酸化作用等を発揮し、健康のためにも良いとされています。ただ、これらの成分は煮汁にも溶けだしますので、菊の花はさつと湯がくか、煮汁ごと一緒に取れる料理などが良いですね。一般的にお浸しが有名ですが、さらにひと手間掛けたアレンジレシピもお試しあれ。

①山形の食材を使った料理のレシピ動画制作



【納豆汁】



作
っ
て
み
よ
う
!!

レシピ動画公開中!!!
下記のQRコードから
観ることが出来ます。



栄養成分表示 (1人分)

- ① エネルギー … 185kcal
- ② タンパク質 … 14.5g
- ③ 脂 質 … 9.6g
- ④ 炭水化物 … 11.6g
- ⑤ 食塩当量 … 1.6g

1食あたり

約180円



食育 豆知識



発酵食品である納豆は、日本が誇るスーパーフードの一つです。納豆には、ビタミンKが多く含まれており、骨の健康のためにもとても良いです。

また納豆菌が産生する酵素『ナットウキナーゼ』には血液をサラサラにする機能も報告されています。

毎日1パック(50g)程度を目安に食べると良いでしょう。

①山形の食材を使った料理のレシピ動画制作

【赤根ほうれん草と菊の生春巻き】



作
っ
て
み
よ
う
!!

レシピ動画公開中!!
下記のQRコードから
観ることができます。



栄養成分表示 (1人分)

- ① エネルギー … 39kcal
- ② タンパク質 … 2.3g
- ③ 脂 質 … 0.3g
- ④ 炭水化物 … 7.5g
- ⑤ 食塩当量 … 0.5g



1食あたり

約250円

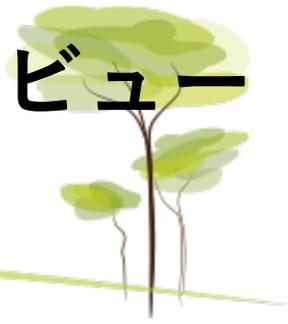


食育 豆知識



赤根ほうれん草は葉っぱだけでなく、赤い根っこも食べることが出来ます。捨てずに薄く切って、一緒に湯がいて食べてみましょう。とても甘く感じます。また、ほうれん草は緑黄色野菜の中でも葉酸などのビタミン類や鉄、カルシウムといったミネラル類も多く含む優秀な野菜です。
旬のものは一般的に栄養価が高いとされていますので、赤根ほうれん草も旬を大切にしてみませんか？

②地産地消推進に取り組むお店へのインタビュー



2店舗のお店にインタビューを行った。

【活動内容】

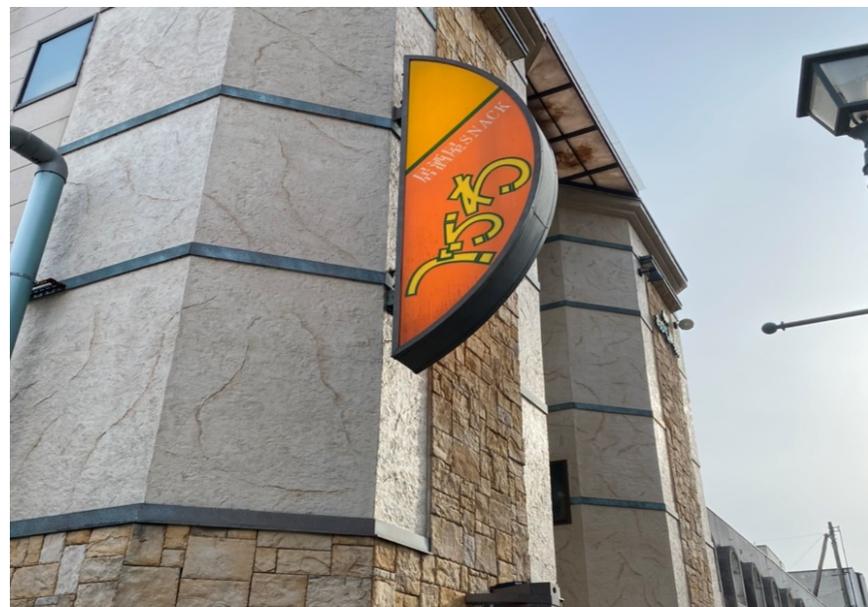
- 山形市のホームページ「山形市地産地消の店一覧」やメンバーの見聞を参考に地産地消に取り組むお店を調査
- 適切なお店をリストアップし実際に連絡を取る
- インタビュー時の質問を考える
- 実際にインタビューする

②地産地消推進に取り組むお店へのインタビュー

【実際にインタビューしたお店】



アンフィニカフェ



居酒屋スナック わらべ

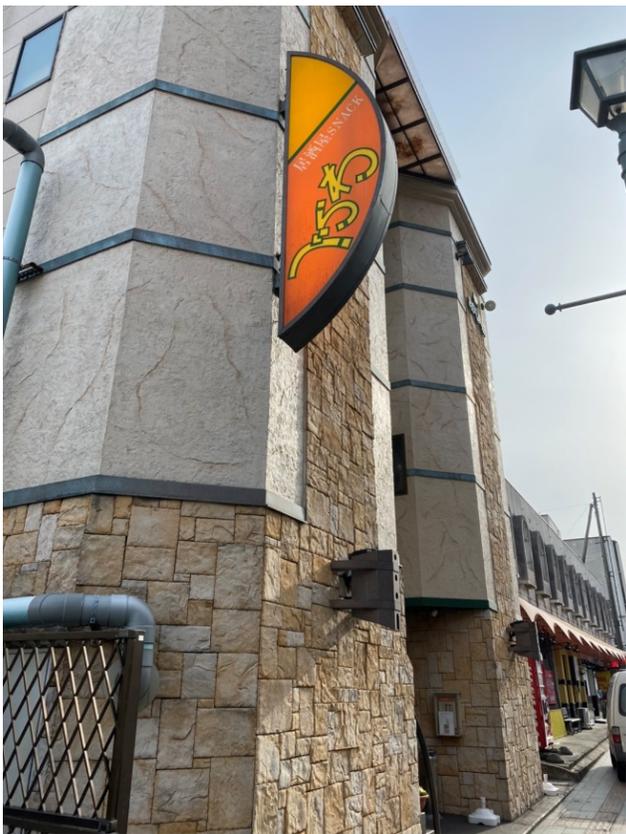
②地産地消推進に取り組むお店へのインタビュー

【アンフィニカフェ】



②地産地消推進に取り組むお店へのインタビュー

【居酒屋スナック わらべ】



③小冊子の作成と情報発信



①と②の活動をまとめ小冊子にした。

【活動内容】

- ①（料理）についてこれまでやってきたことをまとめる
- ②（インタビュー）についてこれまでやってきたことをまとめる
- それらを合わせて小冊子を作成し学内や町に情報発信
- FPのTシャツで活動をPR

③小冊子の作成と情報発信



【実際に作成したページ】

YAMAGATA SHOKUIKU and
やまがた
食育・地産地消
ガイド
2020
CHISANCHISHO GUIDE 2020

山形大学地域教育文化学部フィールドプロジェクトC4
食育・地産地消推進プロジェクト(2020)



Infini Café アンフィニカフェ

Infini Café(アンフィニカフェ)は、山形駅から徒歩10分のあるアットホームな雰囲気のお店です。季節を感じてもらえるよう、旬の食材を使うことこだわった料理をいただくことが出来ます。

季節やメニューによっては、お店の方のご配慮が店内で生産している新鮮な野菜や果物を味わうことができることも魅力の一つです。店内では、実際に野菜を購入することもでき、野菜を目的に来店されるお客さんがいらっしゃるほど人気となっています。店主の方にお伺いしたところ、お店で提供しているこうした野菜は、お客ごとの提供だけでなく、お客さんが手に取りやすいかという点にも配慮しているそうです。誰しもが知っている、食べやすい野菜であるからこそ、購入したいお客さんが多いのかもしれない。

お店を訪れた際には、おいしい料理はもちろん、新鮮な野菜や果物も味わってください。



Infini Café
(アンフィニカフェ) *Check*

☎ 023-674-6979
住所: 〒990-0829 山形市五日町 7-13
営業日: 月・水～日※
営業時間: 11:30～20:30※
※営業日・営業時間は変更になる場合があります。

お店の最新の情報は **Facebook** でもチェック!

居酒屋スナック わらべ

居酒屋スナックわらべは、山形駅から徒歩22分のところにある、山形の食文化を存分に楽しめるお店です。リーズナブルなお値段で季節ごとの郷土料理や、山形のおいしいお酒をいただくことができます。県内外を問わず多くのお客さんがいらっしゃるそうです。お店の人気メニューは、芋煮、納豆汁、寒ダラ汁、山菜天ぷら、お漬物で、里芋や山菜はお客さんからも好評な食材であるとのこと。

その他にも、油淋鶏(ユウリンチー)をはじめとした中華料理や牛すじ煮込み、刺身などの幅広いジャンルの料理もいただくことができます。郷土料理というとなかなか食べる機会がないかもしれませんが、気軽に立ち寄って食べることもできるのがお店の良い点ではないでしょうか?

是非皆さんも一度足を運んでみてください!



居酒屋スナック
わらべ *Check*

☎ 023-632-3709
住所: 〒990-0042 山形市七日町 3-3-11
営業日: 月～日※(不定休)
営業時間: 17:00～24:30※
※営業日・営業時間は変更になる場合があります。

ここで紹介したお店以外にも地産地消に力を入れているお店はまだあります。山形市のホームページでチェックしてみてください! **山形市地産地消のお店**

Special Feature! 地産地消を進める山形のお店特集

③小冊子の作成と情報発信



【実際に作成したページ】



山形県の郷土料理

納豆汁

【歴史・由来・関連行事】

山形県では、食材が不足する冬を乗り越えるための保存食として、納豆を自家製するのが珍しくなかった。煮た大豆をわらでつくった筒に詰め、こたつの釜などの温かいところに一晩から二晩おいて納豆をつくっていた。大江町村山地域では、糸の引かない納豆は「納豆汁」に仕立てたという。「納豆汁」は、山形県で古くから親しまれている冬の家庭料理。納豆をすり鉢で粒が見えなくなるまでよくすりつぶしてとろみをつけ、汁に馴染ませるのが特徴。からとり芋の茎を干してつくる「いもがら」は、「納豆汁」に欠かせない食材。干物や塩蔵品などの保存食とともに、豆腐や油揚げなどもたっぷり入った貴重なタンパク源だった。また、村山地域では七草の時期に、最上地域では正月に、庄内地域では「大黒様のお歳夜（おとしや）」などに食べられることもある。

出典：農林水産省 Web サイト
https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/kyouri/se/arch_menu/menu/nattojiru_yamagata.htm

納豆汁（納豆をたっぷり）

調理時間
20分



材料

納豆	2パック (200g)
油揚げ	2枚 (30g)
こんにゃく	1/2枚 (150g)
木綿豆腐	1/2丁 (150g)
長ネギ	10cm程度 (60g)
ほんだし	小さじ2
水	4カップ
味噌	大さじ3
酒	大さじ1



作ってみよう!!!

栄養成分表示 (1人分)

- ① エネルギー … 185kcal
- ② タンパク質 … 14.5g
- ③ 脂 質 … 9.6g
- ④ 炭水化物 … 11.6g
- ⑤ 食塩当量 … 1.6g

1食あたり
約180円



食育豆知識



発酵食品である納豆は、日本が誇るスーパーフードの一つです。納豆には、ビタミンKが多く含まれており、骨の健康のためにもとても良いです。また納豆菌が産生する酵素「ナットウキナーゼ」には血液をサラサラにする機能も報告されています。毎日1パック(50g)程度を目安に食べると良いでしょう。



作り方



- ① 納豆は包丁でこまかく削み、すり鉢に入れてよくすりつぶす。
- ② 油揚げは1cm角に切る。こんにゃくも1cm角に切り、さっと下ゆえをする。
- ③ 鍋にほんだし、水、②をいれて煮立ちさせて一旦火を止める。



- ④ ③を流し入れてかき混ぜ、お椀に盛り付ける。小口切にしたねぎを添えて完成。
- ⑤ 鍋を再び火にかけ、豆腐を1cm角に切って入れ、ひと煮立ちさせる。
- ⑥ ④にA、⑤の煮汁を1カップ加えてすり合わせる。

実施成果



- 今回のYmgt Eats結成兼、活動第1弾を通して山形市の魅力を再確認したと同時に私たちメンバー一人一人の主体性、積極性を高めることが出来た。
- 食育・地産地消に関心を持つことが出来た。
- 今回うまくいかなかった部分（課題）についても今後改善する方法について考えることが出来た。

今後の予定



- 小冊子の内容を見直しながらより完成度の高いものを作り上げていく
- 内容についても吟味し、第2弾、第3弾へと続かせる
- インタビューに協力してくれたお店や学内に小冊子を置いてもらえるようにする
- 引き続き食育・地産地消に関する活動、情報発信をしていく

YU-SDGs EmpowerStationへの登録

(<https://sdgs.yamagata-u.ac.jp/index.html>)



Yamagata University
Ymgmt
Eats 
Yamagata University

令和3年(2021年)5月13日
山形大学

*詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 山形県立博物館開館50周年記念特別展に山形大学理学部も協力します

山形県立博物館の開館50周年記念特別展にあわせて開催される記念講演会において、山形大学の横山潤教授（多様性生物学／理学部担当）が植物の分類に関する演題で講演を行います。

【山形県立博物館 特別展「1971—やまはく誕生物語—」】

開催期間：令和3年6月5日（土）～8月29日（日） 9:00～16:30

内 容：自然観察イベント、記念講演会、展示解説会

<記念講演会>

日 時：令和3年7月31日（土）13:30～15:00

場 所：山形県立博物館 本館講堂（〒990-0826 山形市霞城町1番8号）

講 師：横山 潤 教授（山形大学学術研究院（多様性生物学／理学部担当））

演 題：「植物の分類 今昔物語 ～リンネからAPG」

申込み：事前申込み制（定員25名、7月13日（火）より山形県立博物館で受け付け）で、講演会の参加には入館料が必要（入館料（大人300円、学生150円））。

2. 山形大学公開講座「憧憬の文学 文学の憧憬」のご案内

山形大学公開講座「憧憬の文学 文学の憧憬」を開催します。本学人文社会科学部担当教員5名が、小説から戯曲までさまざまな側面から考察します。

日 時：6月1日・8日・15日・22日・29日（いずれも火曜日）の全5回

場 所：山形大学小白川キャンパス（山形市）、オンライン（Zoom）【時間】各回 18:30～20:10
（感染状況によっては、実施方法を変更する場合があります。）

対象・受講料：一般2,000円、大学生・高校生無料

定 員：対面30名、オンラインなし

募集期間：5月10日（月）～5月20日（木）

令和3年（2021年）5月13日

山形県立博物館開館50周年記念特別展に 山形大学理学部も協力します

【本件のポイント】

- 山形県立博物館は令和3年度に開館50周年を迎えます。このことを記念して、令和3年6月5日（土）から8月29日（日）までの期間、特別展を開催するとともに、記念イベントを実施します。
- この特別展にあわせて開催される記念講演会（令和3年7月31日（土））において、山形大学の横山潤教授（多様性生物学／理学部担当）が植物の分類に関する演題で講演を行います。



【概要】

山形県立博物館は、県下最大の総合博物館として昭和46（1971）年4月に開館し、本年50周年を迎えます。このことを記念して、博物館では令和3年6月5日（土）から8月29日（日）までの期間、特別展を開催するとともに、記念イベントを実施します。記念イベントは、自然観察イベント、記念講演会、展示解説会からなり、このうちの記念講演会において、山形大学学術研究院の横山潤教授（多様性生物学／理学部担当）が「植物の分類 今昔物語 ～リンネからAPG」と題して講演を行います。これは、同博物館初代館長の結城嘉美氏が植物の分類を専門にし、山形県の植物に関する数多くの書籍を著すなど、県下の植物の研究に尽力したことに関連して開催されるものです。

【山形県立博物館 特別展「1971—やまはく誕生物語—」】

開催期間：令和3年6月5日（土）～8月29日（日） 9:00～16:30（入館は16時まで）

休館日：月曜日（8月9日（月）は開館、翌10日は休館）

内容：自然観察イベント、記念講演会、展示解説会（※詳細は別添のチラシをご覧ください。）

<記念講演会>

日時：令和3年7月31日（土）13:30～15:00

場所：山形県立博物館 本館講堂（〒990-0826 山形市霞城町1番8号）

講師：横山 潤 教授（山形大学学術研究院（多様性生物学／理学部担当））

演題：「植物の分類 今昔物語 ～リンネからAPG」

申込み：事前申込み制（定員25名、7月13日（火）より山形県立博物館で受け付けます）で、講演会の参加には入館料が必要です（入館料（大人300円、学生150円））。

お問い合わせ

学術研究院教授（多様性生物学） 横山 潤

TEL 023-628-4772 メール jyokoyam@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

おかげさまで50周年



令和3年度 山形県立博物館 特別展

1971

- 1971はC誕生物語 -

令和3年

6月5日(土)～

8月29日(日)

山形県立博物館誕生の秘密を大公開!

山形県立博物館

〒990-0826 山形県山形市霞城町1番8号
Tel 023-645-1111 Fax 023-645-1112
URL <http://www.yamagata-museum.jp/>

開館時間 / 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

休館日 / 月曜日 ※ただし8月9日(月)は開館、翌10日は休館

入館料 / 大人300円(20名以上の団体150円)

学生150円(20名以上の団体70円)

※高校生以下は無料。障がい者とその付添いの方は無料。
「学生」には専門学生等を含む。



主催: 山形県立博物館

協力: 株式会社ナガオカ 株式会社山下設計 旧米沢高等工業学校本館記念館 公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構
酒田市立光丘文庫 フロラ山形 山形県立東桜学館高等学校 山形県立東桜学館高等学校同窓会・桜友同窓会(楯岡高等学校)
山形市野草園 山形新聞社 山形大学理学部 山形放送株式会社 米沢市田沢コミュニティセンター 個人ほか

1971 -やまはに誕生物語-

1971年(昭和46)に山形県立博物館が開館し、今年、2021年で50周年を迎えます。この間、山形県に関連する資料を多岐にわたり収集・展示するとともに、地域の自然や歴史・文化について学ぶ場を提供し、1978年(昭和53)のヤマガタダイカイギュウ化石発掘、2012年(平成24)の西ノ前遺跡出土土偶の国宝指定などは県民にとって大きなトピックスとなりました。

本展示会では、開館した当時をしのぶ資料や博物館建設時の設計図、映像、初代館長「結城嘉美」の業績等を紹介し、山形県の宝を後世に伝える施設として博物館が誕生した瞬間にせまります。

Back to 1971

1960～1970年代の様々な電化製品や生活用品を展示し、当時の出来事を併せて紹介することで、博物館設立の時代を振り返ります。

公衆電話
(旧米沢高等工業学校本館記念館 蔵)



資料で振り返り、博物館の50年

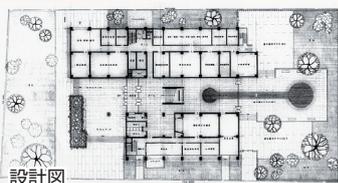
開館から50年の歩みを、写真や収蔵資料で振り返ります。ヤマガタダイカイギュウ化石の実物展示や今まで開催された展示会関連資料の一部を展示します。



ヤマガタダイカイギュウ頭骨化石

博物館誕生

山形県立博物館を設計した「山下寿郎設計事務所仙台支店(現株式会社山下設計東北支社)」の創設者山下寿郎は山形県出身です。当時の設計図から博物館設立に込められた想いを読み解き、開館当時の貴重なニュース映像などを通して、博物館誕生の瞬間にせまります。



設計図

初代館長 結城嘉美

開館した山形県立博物館で初代館長として尽力した結城嘉美の業績を紹介します。

県立植岡高等学校(現東桜学館高等学校)校長時代の資料、自身が作製した植物標本、結城が晩年研究を熱望した両羽植物図譜(県指定文化財・酒田市光丘文庫 蔵)などを展示します。



ユウキンダレ標本

記念イベント

自然観察イベント

山形県立博物館管理の「琵琶沼」周辺を含む自然学習活動

①6月19日(土) 午前9時30分～12時30分(5月19日(水)より受付)

「大人の遠足 夏山歩」参加者15名

※協力:公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構

②6月26日(土) 午前9時～午後3時(6月8日(火)より受付)

「自然学習会」県民の森会場

記念講演会 (本館講堂)

定員25名程度

7月31日(土) 午後1時30分～3時(7月13日(火)より受付)

講師:山形大学 理学部教授 横山 潤 氏

演題:「植物の分類 今昔物語 ～リンネからAPG」

展示解説会 (第3展示室)

①6月5日(土) (5月18日(火)より受付)

②7月3日(土) (6月15日(火)より受付)

③8月7日(土) (7月20日(火)より受付)

いずれも午後1時30分から2時(30分程度)



交通案内

- ◆徒歩 JR山形駅より約10分
- ◆車 山形道山形蔵王ICより5km(約15分)
東北中央道山形中央ICより3km(約10分)
※正面駐車場10台(無料)

すべての「記念イベント」「記念講演会」「展示解説会」は事前申込み制となります。詳しくは当館ホームページをご確認ください。※申込みはホームページからのみ。

令和3年（2021年）5月13日

山形大学公開講座「憧憬の文学 文学の憧憬」のご案内

【本件のポイント】

- 令和3年度山形大学公開講座「憧憬の文学 文学の憧憬」を開催します。
- 対面（定員30名）のほか、オンライン（定員なし）での受講も可能。
- 一般2,000円、大学生・高校生無料。申込み受付は5/20まで。



【概要】

山形大学公開講座「憧憬の文学 文学の憧憬」（全5回）を令和3年6月毎火曜日に開催します。日本で、ヨーロッパで、アメリカで、人間はなにへのどのような憧憬を描き、いかなる文学として昇華してきたのか。そして憧憬を描いた作品はさらにどこへ飛翔してゆき、読者はどう受け止めてゆくのか。本学人文社会科学部担当教員5名が、小説から戯曲までさまざまな側面から考察します。本講座は対面のほか、オンラインでも受講いただけます。一般2,000円、大学生・高校生無料。お申し込みはチラシ添付の振込用紙または下記お問い合わせまで。

【講座の概要】

いまここにはないもの、いないひと。近代市民社会が成立しつつある19世紀初頭ヨーロッパにはじまるロマン主義は、現実を超えたなにか、理性の先のなにかといったさまざまな対象を描いた。そして、このロマン主義文学に限らず、なにものかへの「憧れ」は、ジャンルを問わずつねに文学的衝動の根幹をなし、刹那的な文学思潮としていつかはじまりいずれ消えるのではなく、古代から現代にいたるまで生き続けているともいえるだろう。

文学は憧れを描き、同時に憧れは文学を求める。

日本で、ヨーロッパで、アメリカで、人間はなにへのどのような憧憬を描き、いかなる文学として昇華してきたのか。そして憧憬を描いた作品はさらにどこへ飛翔してゆき、読者はどう受け止めてゆくのか。五回の講座のなかで、小説から戯曲までさまざまな側面から考えていきたい。

【プログラム】

- 6月1日（火）「最上義光と連歌一戦乱の世に見た夢」／准教授 生田慶穂
- 6月8日（火）「憧れの時間軸—ケイト・ショパンとトニ・モリスナー」／准教授 宇津まり子
- 6月15日（火）「黒いボールと青い花—〈憧憬〉にまつわる自然とテクノロジーの対立—」／准教授 摂津隆信
- 6月22日（火）「『日本浪漫派』と山形」／教授 森岡卓司
- 6月29日（火）「文学について語る文学—トーマス・マン『ヴェニスに死す』における美への憧れを出発点に」
／准教授 渡辺将尚

【場所】山形大学小白川キャンパス（山形市）、オンライン（Zoom）【時間】各回 18:30~20:10
（感染状況によっては、実施方法を変更する場合があります。）

【対象・受講料】一般2,000円、大学生・高校生無料 【定員】対面30名、オンラインなし

【募集期間】2021年5月10日（月）~5月20日（木）

【お申し込み方法】指定の振込用紙（パンフレット添付）で受講料をお振り込みください。大学生・高校生はメールで住所・氏名・電話番号・連絡先を下記お問い合わせにご連絡ください。

お問い合わせ

小白川キャンパス事務部総務課社会連携推進室（企画広報）

TEL 023-628-4505 メール kj-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

対象
募集期間
受講料
お申し込み方法

一般市民・大学生・高校生 定員30名 (オンラインは定員なし)
2021年5月10日(月)～5月20日(木)
2,000円(大学生・高校生は無料)

下の「払込取扱票」に記入の上、受講料の振り込み手続きをしてください。
通信欄には、職業、年齢を記入してください。先着順に受け付け、受講証をお送りします。
オンラインでの受講をお申し込みの方には、ZoomのミーティングID・パスワードをお送りします。
なお、大学生・高校生は、メールあるいは電話で、住所、氏名、電話番号、年齢を下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

お問い合わせ先

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12
山形大学小白川キャンパス事務部総務課社会連携推進室(企画広報)
TEL:023-628-4505 E-mail:kj-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

会場案内

山形大学
小白川キャンパス



山交バス・
市民バス停留所

【公共交通機関ご利用のお願い】

現在、山形大学小白川キャンパスでは、駐車場が非常に手狭になっております。公開講座当日はできるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意
この払込書は、機械で処理しますので、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

この場所には、何も記載しないでください。



令和3年度 山形大学公開講座[人文社会科学部]



文学の憧憬 憧憬の文学

令和三年度 山形大学公開講座 「人文社会科学部」

Every Tuesday in June

講義時間 毎回 午後6時30分～8時10分(計5回)

第1回

6.1
[火曜日]

最上義光と連歌
— 戦乱の世に見た夢 —

准教授(人文社会科学部担当) 生田 慶穂

第2回

6.8
[火曜日]

憧れの時間軸
— ケイト・シヨパンとトニ・モリスン —

准教授(人文社会科学部担当) 宇津 まり子

第3回

6.15
[火曜日]

黒いボールと青い花
— 〈憧憬〉にまつわる自然とテクノロジーの対立 —

准教授(人文社会科学部担当) 摂津 隆信

第4回

6.22
[火曜日]

『日本浪漫派』と山形

教授(人文社会科学部担当) 森岡 卓司

第5回

6.29
[火曜日]

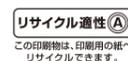
文学について語る文学
— トーマス・マン『ヴェニスに死す』における美への憧れを出発点に

准教授(人文社会科学部担当) 渡辺 将尚

場所 山形大学小白川キャンパス
オンライン (Zoom) 同時配信
受講料 一般 2,000円
大学生・高校生は無料
対象 一般市民・大学生・高校生
定員30名 (オンラインは定員なし)
募集期間 2021年5月10日(月)
～5月20日(木)

【お問い合わせ先】
山形大学小白川キャンパス事務部総務課社会連携推進室
(企画広報)

電話 023-628-4505 E-mail kj-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



憧憬の文学・文学の憧憬

令和三年度 山形大学公開講座 「人文社会科学部」



第1回 6.1 火

最上義光と連歌
— 戦乱の世に見た夢 —
准教授(人文社会科学部主担当) 生田 慶穂

連歌は、戦乱の世に花開いた文芸だと言われます。南北朝の動乱のさなかに『菟玖波集』が、勅撰和歌集の終焉を導いた応仁の乱後には『新撰菟玖波集』が成立しています。また、戦国武将の連歌も数多く残されています。

本講座では、武士が連歌を詠むことの意味を考えながら、山形藩初代藩主・最上義光の連歌を取り上げ、失われた王朝文化への憧れ、武人としての祈り、家臣との紐帯などを作品に即して読み解いていきたいと思っています。



第2回 6.8 火

憧れの時間軸
— ケイト・ショパンとトニ・モリスン —
准教授(人文社会科学部主担当) 宇津 まり子

19世紀の女性作家ショパンと、20世紀の女性作家モリスンが比較対照されることは、普段めったにありません。しかし例えば、それぞれの代表作である『目覚め』と『ジャズ』を比較した時、そこには袋小路に陥った現在と、打開策の模索という共通の主題が存在しています。現状打開の方向性を定める原動力を「憧れ」と捉えて両者を比較すると、現代作家モリスンが発する現在の私たちの社会への痛烈な批判が見えてくるのではないかと

この講座では、これを主題にしていきたいと思っています。



第3回 6.15 火

黒いボールと青い花
— 〈憧憬〉にまつわる自然とテクノロジーの対立 —
准教授(人文社会科学部主担当) 摂津 隆信

「未来はかつてもっと良いものだった」と、ドイツの喜劇役者カール・ファレンティンは言っています。この逆説的なユーモアは、憧憬が行き着く最終地点とみなせるのではないのでしょうか？ なぜなら憧憬とは、自然との親密さを失った近現代人による「掴み得ないもの」を掴もうとする、一種の道化的な試みだと考えられるからです。

本講座では、憧憬文学の傑作『青い花』(ノヴァーリス)を基に「憧れ Sehnsucht」の特質を確認した後、『クラップの最後のテープ』(サミュエル・ベケット)を鑑賞します。ここで私たちは、「Sehnsucht」がテクノロジーによって閉ざされてしまった不可視の時空間へと回収されていくプロセスを追うことで、近現代における憧憬文学の不／可能性について考えてみたいと思っています。



第4回 6.22 火

『日本浪漫派』と山形
教授(人文社会科学部主担当) 森岡 卓司

1930年代日本のロマン主義的な文芸思潮を代表する雑誌『日本浪漫派』が、すでに失われて戻らない、そしてそれゆえに美しく尊い「日本」、すなわちイロニーとしての「日本」の故郷を古都奈良に見出し、幽微で過激なナショナリズムを顕揚したことはよく知られています。しかし、その『日本浪漫派』のある一時期の誌面に、山形の田畑にモンペ姿で立ち働く人々の姿がしばしば現れていたことの方は、あまり知られていないようです。

そうした後期『日本浪漫派』誌上における東北、とりわけ山形の表象は、旧制山形高等学校出身であった亀井勝一郎の主導したプロジェクトでした。「日本」のロマン主義的な表象に対抗しようとした亀井、そして神保光太郎、真壁仁らの活動の内実を探り、近代日本文化史上の東北表象の機能について考えてみます。



第5回 6.29 火

文学について語る文学
— トーマス・マン『ヴェニスに死す』における美への憧れを出発点に —
准教授(人文社会科学部主担当) 渡辺 将尚

ヴィスコンティの映画でも有名な『ヴェニスに死す』は、ただただ実直に創作活動に打ち込んできた作家である主人公(映画では音楽家)が、旅先のヴェニスで美しい少年に魅了され、そのままそこで客死するというストーリーです。本講義ではまず、なぜ突然主人公が美への憧れに目覚めたのか、その意味を考えます。またこの小説は、作家を主人公にし、その死を描くことで、全体として、文学／作家はいかにあるべきかを問う作品にもなっています。文学の中の憧れと合わせて、文学作品自体が希求するものとは何だったのか、読み解いていきたいと思っています。

02		払込取扱票				通常払込料金加入者負担																
口座記号番号						金額																
0	2	2	6	0	7	9	2	4	7	8	千	百	十	万	千	百	十	円	2	0	0	0
加入者名		国立大学法人山形大学				料金	備考															
通信欄		※「憧憬の文学・文学の憧憬」申込書 ※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。(人文社会科学部) ○受講方法を選んでください。 □対面 □オンライン ○職業をお書きください。() ○年齢をお書きください。() ※払い込み済みの受講料は返金できませんのでご注意ください。 ※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー等のご案内を本学からお送りする場合がございます。 □承諾する □承諾しない (いずれかをチェック願います)																				
ご依頼人		お名前				日附印																
お住所(郵便番号)																						
お名前																						
(電話番号)																						
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙第8982号)																						
これより下部には何も記入しないでください。																						

振替払込請求書兼受領証																						
口座番号						金額																
0	2	2	6	0	7	9	2	4	7	8	千	百	十	万	千	百	十	円	2	0	0	0
加入者名						国立大学法人山形大学																
お名前						ご依頼人						様										
料金						日附印																
備考																						